令和５年（2023 年）９月１日（金）第 15 号

横須賀市立夏島小学校　学校だより

～夏小タイム～

なっつ ShowTime

校長　山崎　亨

二刀流を目指して・・・

先日、久々の朝会で、現在メジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手を取り上げ、子どもたちに話をしました。話の内容は以下のとおりです。

大谷選手がここまで大活躍できるまでには、アメリカに渡ってから3年もかかっています。途中でけがをしたり、手術をしたり、なかなか思い通りの活躍をすることができませんでした。きっとこの3年の間、くじけそうになったときもあったと思いますが、あきらめずに、我慢をして、努力を続けてきたからこそ、今の活躍があるのだと思います。

また、大谷選手は、ある試合で自分の打ったボールを相手ピッチャーに当ててしまったことがありました。大谷選手はすぐにタッチされアウトになりますが、大谷選手は自分がアウトになったことを悔しがるのではなく、相手ピッチャーは大丈夫だろうかと、立ち止まってマウンド方向を振り返り、心配そうに思いやる場面がありました。その他にも、相手キャッチャーのマスクが落ちていると、土を払って渡してあげたり、相手バッターが使ったバットを拾ってあげたりと、大谷選手の相手を思いやる優しい行動も注目されています。

この大谷選手の行動から学んでほしいことが2つ。１つめは、学校生活で「たいへんだな」「めんどくさいな」「やる気が出ないな」と思ったときにも、少し我慢をして、努力を続けてみること。２つめは、相手を思いやり優しい行動ができるかっこいい人になることです。

大谷選手は野球の技術面だけでなく、気持ちの面も子どもの頃から鍛え続けてきたんでしょうね。その気持ちが大人になっても残り、これまでの行動につながっているのかなと感じます。子どもたちには今後の学校生活で人として大切なことを継続し、大谷選手のように、二刀流を目指してほしいなと思いました。

夏島小学校学校教育目標『じぶんがすき　あなたがすき　このまちがすき　あたたかな学校』